

事業完了（廃止等）報告書

調査研究期間等

調査研究期間	平成31年4月26日 ～ 令和2年3月9日
調査研究事項	<p>《委託研究Ⅳ》</p> <p>イ. 入学要件・時期に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見学や体験入学などの在り方について <p>ウ. 教育課程・指導上の工夫に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人一人の状況に応じた学習指導の充実について
調査研究のねらい	<p>○川崎市立西中原中学校夜間学級は、外国籍や既卒者による入学希望者の増加が予測されることから、入学前の見学や体験入学などの在り方についても十分に検討し、多様な教育機会を提供することができるよう、夜間学級と教育委員会がより連携を図ることが重要であると考えます。</p> <p>○夜間学級に通学している生徒は、フィリピン、中国、ネパール、韓国、マレーシア等の国籍を持つ生徒が在籍の多くを占めるほか、70代以上の高齢者も在籍している。そのため、算数・数学や国語等の基礎的・基本的な学習内容の相違が大きく、生徒の個々に応じた指導が必要である。生徒の状況に合わせた教材の在り方について研究し、生徒の学力の向上を図りたい。</p> <p>また、文化祭などの学校行事を通して、人との関わりや日本の伝統的な文化等に触れる機会を設け、日本文化に対する理解を深めたり、教養を身に付けたりすることをねらいとしたい。</p>
調査研究の成果	<p>外国籍や既卒者による入学希望者に対し、事前相談や面談による聴き取り、入学前の体験入学を必ず行うようにし、個々の状況に応じた入学後のカリキュラム編成等について夜間学級と教育委員会と一緒に検討、協議しながら一人ひとりに丁寧に対応しながら多様な教育機会を図った。</p> <p>また、日本語の習得状況が十分でない生徒に対して、日本語能力の向上を図るために、どのような指導が適切であるかについて夜間学級と教育委員会が連携し、指導の在り方について指導事例検討会を開催し、指導の向上を図った。具体的には指導主事等が授業参観に参加し、生徒の個々に応じた教材であるかの検討を行った。学習の定着や習得を目指し、教材(購入図書)を基に授業において使用する自主教材を作成についても検討を行った。</p> <p>さまざまな国籍を持つ生徒にもちつき大会等の、日本の年中行事等に触れる機会を設け、国による文化の違いの理解を図った。具体的には、文化祭への参加を通して自分の国を紹介したり、講師を招聘し、文化教室において茶道教室や琴教室、陶芸教室等の文化に触れたりする機会を作り、日本文化に親しみを持たせ、学習意欲の向上等につなげた。</p> <p>また、既卒者の入学については事前相談や面接を通して、多様</p>

な教育機会を図り、入学後は生徒一人一人の学習状況に応じたカリキュラム編成をし、指導の向上を図った。

【4月】

- ・学習習熟度調査（校内）
- ・・・・指導体制編成のため
- ・第1回テキスト検討会（校内）
 - ・・・・生徒個々に応じた教材であるかどうかの検討
- ・第1回指導事例検討会
 - ・・・・指導法が適切であるかどうかの検討会
（授業参観…指導主事等の参加）

【5月】

- ・校外学習
 - ・・・・教師、生徒間の交流を深める

【9月】

- ・テキスト検討会（校内）
 - ・・・・生徒個々に応じたテキストであるかどうかの確認
（指導主事等の参加）
- ・体育祭参加

【10月】

- ・文化祭参加
 - ・・・・自分の国の紹介、日本文化に触れる

【11月】

- ・茶道教室、琴教室、陶芸教室など文化教室の開催
（内容未定）
- ・・・・日本文化等の理解（講師による指導）

【12月】

- ・調理実習
 - ・・・・日本文化の理解（日本食の調理法）
- ・指導事例検討会（研究授業を実施）

【1月】

- ・もちつき大会・・・日本文化の理解

【2月】

- ・学習習熟度調査（校内）
- ・・・・指導体制編成のため
- ・テキスト検討会（校内）
 - ・・・・生徒個々に応じた教材であるかどうかの検討
- ・指導事例検討会
 - ・・・・指導法が適切であるかどうかの検討会
（授業参観…指導主事等の参加）

・指導事例検討会（授業参観…指導主事等の参加）

【3月】

・ひな祭り

・・・日本文化の理解（紙雛作り）

・結果検討（校内）

指導法等についての振り返り